

新しい年になり、早いものでもう一カ月が経ちました。2019年に入って寒い日々が続いていますね。皆さま、風邪やインフルエンザには充分気を付けてお過ごしください!!

演奏会もいよいよ来月になりました。体調に気を付けて、音楽を楽しむ気持ちを忘れず、本番まで練習を頑張りましょう♪

星っさんコーナー(その150)

「サイモン・ラトルとマ・メール・ロワ」 顧問 星島明郎

昨年末の12月9日(日)から「第40回岡山フルートの会演奏会」の、アヴァンテ(出場者全員による大編成)の練習が始まりました。曲目は、フルートオーケストラによるラヴェル作曲「マ・メール・ロワ」ですが、奇しくもその同じ日の夜9時からのNHK教育テレビ「クラシック音楽館」で、サイモン・ラトル指揮ロンドン交響楽団による「マ・メール・ロワ」の録画が放送されたのです。まさに「岡山フルートの会結成40周年」を後押しされているように思いました。指揮者のサイモン・ラトルは、2002年から2018年までの16年間、実力世界一を誇るベルリン・フィルの首席指揮者兼芸術監督を務められていました。(私は平成16年の秋、ベルリン・フィル着任3年目のサイモン・ラトル率いるベルリン・フィルが、岡山シンフォニーホールでマーラー作曲交響曲第5番を演奏した時の、体が震えるほどの興奮を忘れることが出来ません)ラトルは、一昨年の2017年9月からロンドン交響楽団の音楽監督に就任しました。そして現在は、古い伝統を大切にすベルリン・フィルに対して、伝統よりも未来に関心の強いロンドン響に魅力を感じていると語っていました。

「マ・メール・ロワ」には、ラヴェル自身の書いた3種の異なった版があります。その原曲は、5曲からなるピアノ連弾曲で、第1曲 眠れる森の美女のパヴァーヌ、第2曲 親指小僧、第3曲 パゴダの女王レドロネット、第4曲 美女と野獣の対話、第5曲 妖精の園の5曲から出来ています。独身だった子供好きのラヴェルが、友人の2人の子供のために作曲したものです。次に、その連弾組曲をそのまま管弦楽組曲にしたものがあります。今回、私たち岡山フルートの会が演奏するのは、その第1曲目から第3曲目までを、フルートオーケストラのためにアレンジしたものです。そしてもう一つはバレエ版で、曲順を入れ替え、新たな曲(前奏曲、紡車、数曲の間奏曲と終曲)を付け加えた約27分かかる大作になっています。先日のNHK「クラシック音楽館」で聴いた「マ・メール・ロワ」はこのバレエ版で、実に見事なフランス音楽の真髄を聴かせて頂きました。最後に、この放送でラトル自身の語ったフランス音楽に対する思いを書き留めましたので、ご紹介します。『管弦楽の魔術師と言え、フランスのラヴェルとドビュッシーそしてタケミツ(武満徹)で、彼らは意外な素材から独自の音世界を作ります。彼らの指示どおりにやれば、音楽に命が宿るのです。彼らは可能なかぎり作曲者に忠実であれと後押しします。指揮者は特定の様式を見いださなくてはなりません。ドビュッシーの追求した「浮遊するオーケストラ」は優れたフランス音楽すべてに当てはまります。空中を漂うのに必要な揺らぎをドライなホールで出すのは至難の技です。「マ・メール・ロワ」はとても美しく簡素で深い作品です。』

#演奏会情報

♪第20回安達雅彦フルートリサイタル【岡山フルートの会主催】

日時:3月30日(土)15:00開演(14:30開場)

会場:まなび広場にいみ 小ホール(新見市新見310-3)

入場料:無料

出演:安達雅彦(Fl), 松本智子(Pf)

曲目:ベルトミュー/ロマンティック組曲, バーネット/グランド・ソナタ Op. 41 他

お問合せ:090-8993-8543(安達さん)

#演奏会情報の連絡締め切り日

演奏会情報は2月22日(金)までに谷川さん(会報係チーフ)に連絡してください。

会報係チーフ連絡先:qzb03677@nifty.com(谷川さん)

#チラシをホームページに掲載する方法について

演奏会のチラシを岡山フルートの会のホームページに掲載してほしい会員は、チラシを折らないでホームページ係チーフ(柴田さん)に郵送してください。なお、チラシをPDF化できる会員につきましては、以下のアドレスにファイルを添付してお送りください。

ホームページ掲載用チラシ送付先:柴田 聡さん

〒703-8282 岡山市中区平井1126-52 okayama-flute@mail.goo.ne.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

3月号の会報の封筒詰めを、3月5日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。
セレーナ皆さまには、封筒詰めをお願いします。